

上高田の防災まちづくりについて会員からひとこと

あっという間の1年でした。防災については以前から興味を持っていましたので、軽い気持ちで役を引き受けましたが、会議を重ねるごとに防災まちづくりは地道な努力と永い時間がかかることだと痛感いたしました。

誰でもほんの少し心の窓を開けば、会社や学校へ急ぐ朝、「おはよう」「お早よう」日暮れてもここまで帰ればもう安全、「ただいま」「お帰り。〇〇ちゃんも、さっき元気に帰ったよ」って。そんな街を見てみたい。

改めて自分の街を見てみたら問題の多いことにびっくり。ユニバーサルデザインが叫ばれる昨今、それ以前の難問が山積みになっている。この機会に解決できればと思う。まちづくりや防災はエンドレスだと感じた。

“まちづくりに終りなし”と言われますが、慌てず、焦らず、諦めず、次世代が誇りに思えるような、災害に強く・安全性の高い・快適な「まち」の実現に向けて一歩一歩進めていきたい。

災害は突然としてやってきます。被害を最小限に抑えるため日頃より皆で最良の策を考え、話し合いを積極的に展開していくことが大切と考えています。

長い行き止まりの所に住んでいる老人達は、大地震が来て災害が発生したら避難路もないので死を確悟しています。何とか対策が必要だと思っています。区にて共同住宅を建て住み替えが出来ないでしょうか。

防災意識を持っていただくためには、まずご近所の人達と顔が見える楽しい友人作りから始めることが大事なのではないでしょうか。地域で助け合おうという暖かい気持ちが災害に強い住みよいまちづくりが築けるのではないのでしょうか。

引っ越して来たばかりの頃は迷路のような道に迷いました。しかし“上高田愛”の強いたくさんの方々とのふれあう中で、この地が大好きになりました。安全で安心な災害に強いまちになっていけるよう微力ながら少しでもお役に立ちたいと思っています。



30℃を超える猛暑の中、南台を現地調査



中野区担当者から説明の様子



防災まちづくりに対する活発な意見が飛び交いました。



第11回防災まちづくりの会での集合写真



第12回防災まちづくりの会での集合写真

■事務局 〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1
中野区 地域まちづくり推進部 北東部まちづくり分野 (9階18番窓口)
TEL: 03-3228-8827 担当: 長坂、田中

上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区 まちづくりニュース



発行元: 上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの会

2019.3 第5号

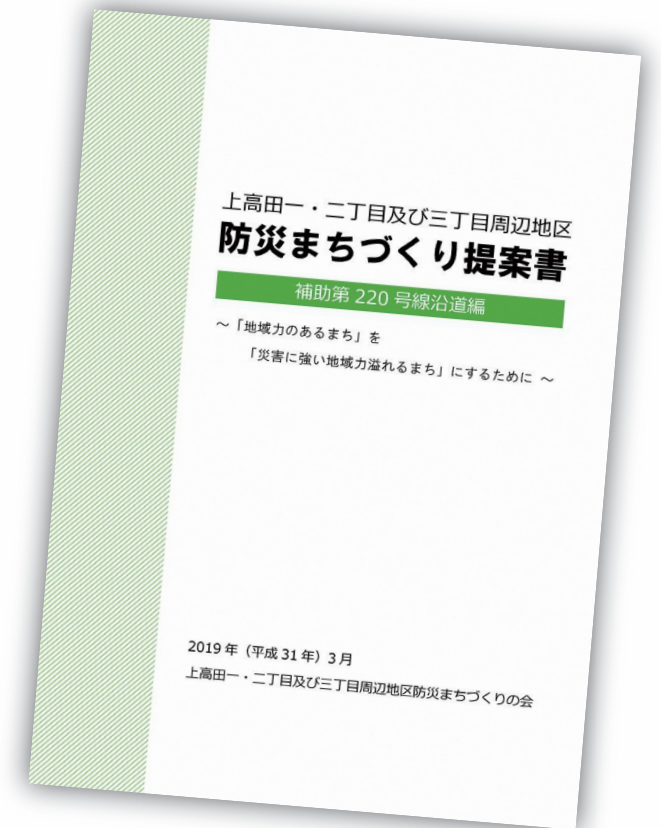
防災まちづくり提案書が完成しました!!

上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの会は、防災性と住環境向上の視点から、本地区のまちづくりを検討するため、平成30年1月に設立したものです。これまで12回の会合をおこない、多くの議論を重ねてきました。

同年5月には、地区の皆様から広くご意見をいただくため、地区全域を対象とした「防災まちづくりに関するアンケート調査」を実施しました。アンケートではこれまでの議論にはなかった様々な意見をいただくことが出来ました。

同年7月には、気温30度を超す猛暑の中、先進事例となる南台一・二丁目地区(中野区)を視察しました。地区住民の方々の理解と協力なくしては事業がなかなか進まない難しさを実感しました。

先進事例の視察やアンケートでいただいた意見を参考に、その重要性和緊急性を鑑み、補助第220号線沿道の防災まちづくりに的を絞り、本地区の防災まちづくりのあり方や実現に向けた方策について更なる議論を重ねました。そして、平成31年3月に「上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくり提案書(補助第220号線沿道編)」として取りまとめることが出来ました。この提案書は地区の皆さんに周知するとともに、同年4月に中野区長に報告する予定です。



第11回防災まちづくりの会の様子

今後は、地区全体に広げた防災まちづくりのあり方について検討を行う考えです。
皆様に置かれましては、一層の当防災まちづくりの会の活動に対するご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

まちづくり提案（補助第220号線沿道編）

これまで行ってきたアンケート調査やヒアリングを含めた地区の状況から、わたしたちのまちは右記の課題を抱えていることがわかりました。

- ① 古い木造建物の割合が高く、地震時に建物倒壊の危険性が高い地区
- ② 非常に燃えやすく、火災発生時に市街地大火となる恐れがある地区
- ③ 地震や火災が発生した際に、建物の倒壊や行き止まり道路のため、安全に避難出来ない地区

そこで、本防災まちづくりの会では、防災まちづくりを進める上で3つの目標を掲げました。

防災まちづくりの3つの目標

- 燃えにくく倒れにくいまち
- 燃え広がらないまち
- 安全に避難できるまち

それらの目標を実現するため、防災まちづくりに関する3つの提案にとりまとめました。

提案1：沿道宅地も含めたまちづくりを推進するために

私たちが大切に思うこと
→区に検討してほしいこと

- 燃え広がらないまちに向けた延焼遮断帯の形成
 - ・地区全体に燃え広がるのを防ぐ補助第220号線沿道の延焼遮断帯
- 延焼遮断帯形成に向けたルールづくり
 - ・建物が建替えしやすい仕組み
 - ・木造建物が再生産できない、燃えにくい建物とする規制
 - ・建替えのルールがしっかりと守られる拘束力のある仕組み
 →地区計画や都市計画への位置づけ

防災まちづくりの3つの目標との関連

- 燃えにくく倒れにくいまち
- 燃え広がらないまち

- 延焼遮断帯形成に向けた支援の仕組みづくり
 - ・安全な建物へ建替えるための支援・助成
 - ・倒壊や火災の危険性の高い古い建物や空き家の除去
 - ・共同化の意向を推進する仕組み
 →助成金等による支援

- 燃えにくく倒れにくいまち
- 燃え広がらないまち

- ブロック塀への対策
 - ・ブロック塀の新設ができないような規制
 - ・既存のブロック塀への対策（診断、補強・撤去）
 →地区計画における規制の導入や助成金による対応

- 燃えにくく倒れにくいまち
- 安全に避難できるまち

提案2：補助第220号線を安全・快適な避難路とするために

私たちが大切に思うこと
→区に検討してほしいこと

- ユニバーサルデザインへの配慮
 - ・ベビーカーや車椅子を利用する人はもとより、誰もが安全・快適に利用できる道路
 - ・補助第220号線につながる道路や宅地のバリアフリー
 - ・避難場所や避難ルート的高低差に対する配慮
 - ・放置自転車やゴミ捨てのない使いやすい歩道のデザイン
 →ユニバーサルデザインの積極的な導入

防災まちづくりの3つの目標との関連

- 安全に避難できるまち

- 無電柱化の促進
 - ・通行の支障となる電柱の撤去
 - ・電柱の倒壊を防ぎたい。
 - ・電柱のない美しい街並みをつくりたい。
 →補助第220号線の無電柱化

- 燃えにくく倒れにくいまち
- 安全に避難できるまち

提案3：まちづくりの取組みを進めるために（提案1,2の実効性を高めるために）

私たちが大切に思うこと
→区に検討してほしいこと

- 住民同士の助け合い、コミュニケーションの場をつくる
 - ・住民の防災意識を高める年代を超えた意見交換の場
 - ・高齢者や体の弱い人を互いに助け合う体制づくり
 - ・外国人や最近引っ越してきた人などの防災意識やマナーを高める場
 - ・住民からのさまざまな意見をまとめて受け止める区の窓口
 →自助や共助の取組みへの支援

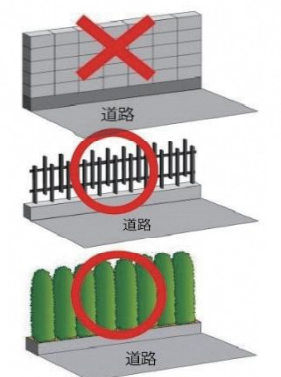


- 情報発信の実施
 - ・広域避難場所と避難所の違いなどの防災情報の周知
 - ・消火器の場所や使い方の周知
 - ・災害時の備蓄品などの場所や使い方の周知
 - ・公園・広場や駐車場等身近な避難場所の周知
 - ・広域避難場所や避難所への避難ルートの周知
 →情報共有に向けた方法や仕組みの検討



誰もがわかりやすい案内や誘導のサイン

- さまざまな環境変化についての配慮
 - ・派手な看板や建物の色を抑制する規制
 - ・建物の高さを揃えた街並みづくりや看板の色の制限など総合的な視点を持ったまちづくり
 - ・これまでなかった種類の店舗（風俗店など）の進出に対する規制
 - ・住民の生活を支えている既存店舗などが存続できるルール
 - ・風の流れなど、新たな課題の発生に対する対応
 - ・地域のことを考えたバスルート、バス停の設置、設置場所などの検討
 →地区計画等の規制や助成金による対応



地区計画による垣又はさくの構造の制限の例

- 引き続き取り組んでいくこと
 - ・補助第220号線だけでなく、地区全体の防災まちづくりへの取組み。
 - ・補助第220号線を軸として、地区全体に張り巡らされた避難経路ネットワークの検討
 - ・商店街や中野区画街路第3号線（五中つじ通り）など周辺道路との結節点などについての検討
 - ・広場や駐車場など身近な避難場所の確保（権利者との協定など）
 →本防災まちづくりの会への支援の継続